

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス事業 そらほ路館		2026年 3月 30日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	スペースは確保されている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		3			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3			死角になる場所があり、見守り体制において安全面が不安である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども連の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	活動室の掃除は毎日行っている。		構造化は必要。明確な活動場所や荷物置場等の設定が必要で、新規で利用した児童にも分かりやすい活動場所の提供が必要である。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		利用人数に対してのスペースは確保されている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		モニタリング時には多くの参加職員を得られている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	毎日の送迎時に意見交換する場を設けている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		職員の意見等を把握できていない事が多く、今後は毎日ミーティングする時間を確保し、意見交換の場を設けてその内容を共有する。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	各事業全体の内即研修に参加する機会は多数ある。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		支援プログラムを作成しており、ホームページ等で公表している。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援管理責任者のみならず、現場に関わる児童指導員や保育士等も入り作成している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	支援計画は共有されている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	2		日々のアセスメントを行う用のツールがない。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		児童の5領域を基本として、本人の状況に応じた支援内容を設定している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2		個人の技量に委ねられている為、今後は翌月の活動プログラムを児童会議の場で共有することが必要である。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		季節に応じたプログラム活動(創作活動)を行っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2		支援開始前の打合せができていない事が多く、今後は毎日ミーティングする時間を確保する必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	2	ケース記録と業務日誌により共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		こども会議を実施しているが、機能されているかは定かではない。	今後は第2週を「こども会議週間」として位置づけ、こどもがやりたい事を選択できる機会を設けていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		3	情報開示・情報提供同意書を保護者からもらっており、必要に応じてプライバシーの保護に配慮しながら行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	2	電話連絡や学校送迎時に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	今年度は該当事例なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3	今年度は該当事例なし。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用契約時の更新時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		毎日の送迎時や電話連絡等で行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		利用契約時の更新時及び送迎時や電話連絡等で行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	1	利用契約時の更新時に行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		広報誌やHPを活用して行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		毎日の送迎時や電話連絡等で行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		施設主催の夏祭りを開催し、地域住民の参加を得ている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		各種マニュアルは存在しているが、訓練等が十分に行っているとはいえない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	2		避難訓練は実施しているが、参集人数が少なく多くの利用児が参加できる体制づくりが必要である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		看護師や現場職員（短期入所時の夜勤職員を含む）と情報共有をしながら行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	利用開始時の聴き取り等で把握している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	2	インシデントの報告書等を活用しながら検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1	利用契約時の更新時に保護者へ説明している。		